

## ITU-T SG5 会合(10/12-16) WP1, 2 課題別対処方針

資料 2-伝-2-SG5-WP2-Q1-課対	Q.1 対処方針
資料 2-伝-2-SG5-WP2-Q2-課対	Q.2 対処方針
資料 2-伝-2-SG5-WP2-Q3-課対	Q.3 対処方針
資料 2-伝-2-SG5-WP1-Q4-課対	Q.4 対処方針
資料 2-伝-2-SG5-WP1-Q5-課対	Q.5 対処方針
資料 2-伝-2-SG5-WP1-Q6-課対	Q.6 対処方針
資料 2-伝-2-SG5-WP2-Q8-課対	Q.8 対処方針
資料 2-伝-2-SG5-WP1-Q9-課対	Q.9 対処方針
資料 2-伝-2-SG5-WP1-Q10-課対	Q.10 対処方針
資料 2-伝-2-SG5-WP1-Q11-課対	Q.11 対処方針
資料 2-伝-2-SG5-WP2-Q12-課対	Q.12 対処方針
資料 2-伝-2-SG5-WP1-Q13-課対	Q.13 対処方針
資料 2-伝-2-SG5-PLEN-Q14-課対	Q.14 対処方針
資料 2-伝-2-SG5-WP1&2-Q15-課対	Q.15 対処方針
資料 2-伝-2-SG5-WP2-Q16-課対	Q.16 対処方針

## ITU-T会合への課題別対処方針

(会合名:ITU-T SG5 第3回全体会合)

提出元:日本代表团

課題番号	課題名	原題	EMC issues arising from the liberalization of telecommunications networks
1		和訳	通信ネットワークの自由化によって発生するEMC問題
WP2	ラポータ名(所属)		Mr. Fantao MENG (Huawei, China) / Associate: Li XIAO (China)

## 課題の内容:

通信の自由化によって発生するEMC問題として、電気通信網の相互利用(コロケーション、アンバンドリング)に関連するEMC課題の検討と既存勧告のメンテナンスの実施する。特にアンバンドリングの場合に問題となるケーブルの平衡度の測定方法等について検討する。

## これまでの経緯:

これまでの会合において、ケーブルの平衡度(LCL)の測定方法等に関する勧告案K.lclについて優先して審議を行う方針がとられ、詳細についてはIEC規格を基に検討されるべきであるということでした。また、コロケーション、アンバンドリングに関する勧告K.58、K.59についてもメンテナンスが行われることが了承されている。その他、旧SG6や課題7で検討されていた課題の統廃合についてもこれまでの会合において整理されている。

## 今会合での主な検討項目:

今回の会合では、ラポータがまとめた草案について審議が行われる予定である。

## 他SG、他機関との関連:

ITU-R SG1, CISPR, ETSI等

## 注意すべき諸外国の動向:

なし

## 提出寄書:

なし

対処方針: A:達成すべき事項あり B:達成すべき事項なし C:静観

審議の中心となる勧告案K.lclについては、関連するITU-T勧告G.117やK.10の内容を含め、他の国際標準化機関における検討状況を考慮した上で、具体的な検討課題の抽出を行い、審議を進める。前々回の寄書(C57,05-08会期)以降、新たな寄書は提出されていないため、今回、寄書案が提出される可能性がある。寄書が提出され次第、上記観点から内容の検討を行い、技術的な課題が明確になるよう対処する。(K. 58. 59についての記載を追加する)

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.lcl	新規	Method for measuring Longitudinal Conversion Loss (9kHz - 30MHz)	C37 (05-08)

勧告案の合意状況または合意予定時期： 2010年			
対処及び今国会での課題：測定方法の整理, 検討課題の具体化			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.10	改訂	Low frequency interference due to unbalance about earth of telecommunication equipment	
勧告案の合意状況または合意予定時期： 2012年			
対処及び今国会での課題：			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.58	改訂	EMC, resistibility and safety requirements and guidance for determining responsibility under co-located telecommunication installations	
勧告案の合意状況または合意予定時期： 2012年			
対処及び今国会での課題：無線基地局のコロケーション環境における問題			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.59	改訂	EMC, resistibility and safety requirements in unbundled telecommunication cables	
勧告案の合意状況または合意予定時期： 2012年			
対処及び今国会での課題： なし			

## ITU-T会合への課題別対処方針

(会合名:ITU-T SG5 第3回全体会合)

提出元:日本代表团

課題番号	課題名	原題	EMC related to broadband access systems
2		和訳	広帯域アクセスシステムに関するEMC
WP2	ラポータ名(所属)		Darren CARPENTER (BT, UK) / Associate:Victor VELLANO NETO (Brazil)
課題の内容: スペクトル拡散技術などの広帯域アクセスシステムによる無線電波への影響と対策方法の検討			
これまでの経緯: 課題2では、広帯域アクセスシステムによる無線システムへの影響とその対策方法について検討を実施している。前会合では、勧告K.60の判断レベルに対するITU-Rからの提案が受け入れられ、K.60のScopeが一部修正された。本会期においては、勧告草案K.mitを最優先に審議が行われることとなっているが、勧告草案K.eunの合意予定時期が2009年となっているため、今会合では、K.eunに関する積極的な議論が行われる。			
今会合での主な検討項目: 勧告草案K.eunの合意予定時期が2009年となっているため、今会合では、K.eunのコンセントに向けて積極的な議論が行われる予定である。			
他SG、他機関との関連: ITU-R, CISPR			
注意すべき諸外国の動向: ITU-Rおよび各国, 各国際機関等の動向			
提出寄書: なし			
対処方針: <input checked="" type="checkbox"/> A:達成すべき事項あり <input type="checkbox"/> B:達成すべき事項なし <input type="checkbox"/> C:静観 K.mitおよびK.eunの審議においては、技術的な課題について確認するとともに、日本の状況を考慮して適宜対応する。			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.eun	新規	Evaluation methodology for radiated emissions from plural broadband access systems under unbundled condition and Guidance for solving radio interference	TD.457, TD.459 (05-08)
勧告案の合意状況または合意予定時期:2009-2010年			
対処及び今会合での課題: 検討内容について動向把握を行う			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.mit_ng	新規	Mitigation methodology for next generation access systems	なし
勧告案の合意状況または合意予定時期:2010年			
対処及び今会合での課題: 検討課題について動向把握を行う。			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.pred_b	新規	Prediction method for emission from broadband signals transmitting in a cable	なし
勧告案の合意状況または合意予定時期:2011年			
対処及び今会合での課題: 検討課題について動向把握を行う。			

## ITU-T会合への課題別対処方針

(会合名:ITU-T SG5 第3回全体会合)

提出元:日本代表団

課題番号	課題名	原題	Human exposure to electromagnetic fields (EMFs) due to radio systems and mobile equipment
3		和訳	無線システム及び移動体による電磁界の人体ばく露
WP2	ラポータ名(所属)		Fryderyk LEWICKI (TP, Poland) / Associate:Tariq AL-AMRI (Saudi Arabia)

課題の内容:携帯電話、無線システムのアンテナ周囲における電界強度の推定手順、計算方法、測定方法に関する検討

これまでの経緯:

開発途上国から、電磁界への人体のばく露について、支援を要請されており、WTSA-08でResolution 72として対応が決議されている。開発途上国に対する支援は本課題の柱の一つとすることが確認され、本課題のWordingの中にResolution72に関する活動を追加することになった。

今会合での主な検討項目:

- ・ K.guide (EMFによる人体の曝露の管理に関するガイドライン)の審議

他SG、他機関との関連:

WHO, ITU-R, IEC

注意すべき諸外国の動向:ドイツからEMFの自動測定のプロポーザがある。(C18)

提出寄書:

1件

対処方針: A:達成すべき事項あり B:達成すべき事項なし C:静観

発展途上国の人体曝露測定に関する技術的な支援には支持する立場で臨む。ドイツからの提案を含め測定法の議論を含めてK.guideの審議が進むと思われるが、日本での運用と齟齬が生じないように対処する。電界強度測定における測定時間について議論が予定されているが、寄書では、WCDMAについての検討例を提出し、10dBのマージンをとれば短時間測定で良いことを主張する。

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.guide	新規	Guidance on how to manage human exposure to electromagnetic fields	C.58 (05-08)

勧告案の合意状況または合意予定時期:2010

対処及び今会合での課題:国際機関での検討状況との整合、国内の規定などとの整合についてチェックをしながら対処する。

**ITU-T会合への課題別対処方針**  
(会合名:ITU-T SG5 第3回全体会合)

提出元: 日本代表団

課題番号	課題名	原題	Resistibility of communication equipment
4		和訳	通信装置の過電圧耐力
WP1	ラポータ名(所属)		Philip DAY (Telstra,Australia)/Associate:Benjamin BARLAUD (FT, France)
課題の内容: 様々な通信装置のインターフェースに対する過電圧耐力規定や防護方法に関する検討及び既存勧告のメンテナンス			
これまでの経緯: K.20、K.21、K.44 の内線(多対線)ポートの試験方法について了承され、試験抵抗値等を今後議論することとなっている。また、イーサポートの耐力特性を追加することが了承されが、試験レベルや外線内線間の試験などについては今後の課題となっている。その他、過電圧関連勧告の試験規定を、IEC 規格と整合させること了承されている。			
今会合での主な検討項目: 内線ポートの試験法に関して、試験抵抗値などの議論が行われるとともに、イーサポートの試験レベル等に関して議論が行われる予定である。			
他SG、他機関との関連: IEC TC81			
注意すべき諸外国の動向: なし			
提出寄書: なし			
対処方針: <input checked="" type="checkbox"/> A:達成すべき事項あり <input type="checkbox"/> B:達成すべき事項なし <input type="checkbox"/> C:静観 安全規格と雷サージ試験の整合が課題として残されているので、前々回の会合で提出した引き続きC57の考え方(ヒューズ耐量が小さい場合は5 kVで可とする)を基に、検討を進めていくべきとの立場で対処していく。			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.44, K.20, K.21, K.45	改訂	Resistibility tests for telecommunication equipment exposed to overvoltage and overcurrent – Basic Recommendation, 他	なし
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2012年			
対処及び今会合での課題: 内線の試験法, 同軸の試験法, 安全規定との整合等これまでの提案事項を検討事項に含めることの提案			

## ITU-T会合への課題別対処方針

(会合名:ITU-T SG5 第3回全体会合)

提出元: 日本代表团

課題番号	課題名	原題	Lightning protection of telecommunication systems
5		和訳	通信システムの雷防護
WP1	ラポータ名(所属)		Celio Fonseca BARBOSA (CPqD, Brazil) / Associate:Mrs Ying SHI (China)
課題の内容:			
本課題では、通信システムの雷防護に関するリスク管理手法の検討と既存勧告のメンテナンスを行っている。			
これまでの経緯:			
K.71で修正の必要がある箇所(接地線の線径等)についてリストが示された。また、IEC/TC64にリエゾンを送付することが了承された。一方、K.46の改訂については、改訂時期を2010年とすることが了承されるとともに、リスク評価ソフトウェアを添付して勧告化することが有効であるとの提案があり、ラポータがその検討を行うこととなっている。			
今会合での主な検討項目:			
K.46の改訂に関して検討される予定である。			
他SG、他機関との関連:			
IEC TC81			
注意すべき諸外国の動向:			
特になし			
提出寄書: なし			
対処方針: <input type="checkbox"/> A:達成すべき事項あり <input checked="" type="checkbox"/> B:達成すべき事項なし <input type="checkbox"/> C:静観 関連する国際規格(例えばIEC62305シリーズ)との整合を念頭に、具体的な検討項目の審議に臨む。			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.46	改訂	Protection of telecommunication lines using metallic symmetric conductors against lightning-induced surges	なし
勧告案の合意状況または合意予定時期:2010年			
対処及び今会合での課題:動向把握			

## ITU-T会合への課題別対処方針

(会合名:ITU-T SG5 第3回全体会合)

提出元:日本代表团

課題番号	課題名	原題	Bonding configurations and earthing of telecommunication Systems in the global environment
6		和訳	グローバルな環境における電気通信システムのアースとボンディング
WP1	ラポータ名(所属)		Claude MONNEY (Swisscom, Switzerland) / Associate:Ying XIONG (China)
課題の内容:			
センタビルやユーザー環境における通信設備の接地とボンディング方法の検討、及び既存勧告、ハンドブックのメンテナンスを検討する。			
これまでの経緯:			
韓国より提案された「接地抵抗を測定するときの誤差に関する情報」に関しては、より詳細な検討が必要であり次会合以降継続して検討していくことになった。また、K.66 (Protection of customer premises from overvoltages) 改訂案のドラフトが次会合までに用意されることとなっている。			
今会合での主な検討項目:			
今回の会合では、K.66改訂案の審議が予定されている。			
他SG、他機関との関連:			
IEC			
注意すべき諸外国の動向:			
なし			
提出寄書: なし			
対処方針: <input checked="" type="checkbox"/> A:達成すべき事項あり <input type="checkbox"/> B:達成すべき事項なし <input type="checkbox"/> C:静観			
K.66改訂案に今後のネットワーク形態の変化を考慮した課題への対応が含まれていない場合、こうした課題の検討について再度コメントする。韓国からの提案に関して継続審議となったため、引き続き技術的な根拠の確認を行い、問題が無ければ賛成の立場で対応する。			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
Handbook	改訂	Handbook on Earthing and Bonding	C.44, C.52, C.53, C.66
勧告案の合意状況または合意予定時期:2009年			
対処及び今会合での課題:積極的寄与			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.27,35等	改訂	Bonding configurations and earthing inside a telecommunication buildings (K.27) Bonding configurations and earthing at remote electronic site(K.35)	TD.288
勧告案の合意状況または合意予定時期:2010年			
対処及び今会合での課題:動向把握			



## ITU-T会合への課題別対処方針 (会合名:ITU-T SG5 第3回全体会合)

提出元: 日本代表団

課題番号	課題名	原題	Home networks	
8		和訳	ホームネットワーク	
WP2	ラポータ名(所属)		Mr. Ryuichi Kobayashi(NTT) / Associate:Ms Xia ZHANG (China)	
課題の内容: ホームネットワークに対するEMC、過電圧、安全の規定の検討				
<p>これまでの経緯:</p> <p>本課題では、ホームネットワークのEMC問題について審議を行い、前会期には、新勧告K.74が成立している。これまでの会合では活動計画として、インパルスノイズを含む広帯域なノイズに対するイミュニティ規定の検討を中心に進めることとなった。その勧告K.im_bbの骨子が提案され、今後メンバーの意見を待って草案作成をすすめることになっている。また、CISPR等の他国際機関や関連するSG等へのリエゾンを行い、協力して進めていくことで合意している。</p>				
<p>今会合での主な検討項目:</p> <p>前回、ラポータから提出された勧告K.imm_bbのドラフト第1版に対して、今会合までに寄せられた寄書やコメントを中心に審議が行われる予定である。</p>				
他SG、他機関との関連: SG12, 13, 15, JCA-HN, IPTV-GSI等				
注意すべき諸外国の動向: フランス, イギリス				
提出寄書: なし				
<p>対処方針: <input checked="" type="checkbox"/>A:達成すべき事項あり <input type="checkbox"/>B:達成すべき事項なし <input type="checkbox"/>C:静観</p> <p>新たな勧告草案K.im_bbについて、勧告の目的を明確にし、広帯域ノイズに対するイミュニティ要件を明確にして、具体的な課題をリスト化するなどして、検討を促進する。</p>				
勧告番号	種別	勧告名		最終文書番号
K.im_bb	新規	Immunity to Broadband disturbances for home network devices		
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2009-2010年				
対処及び今会合での課題: 広帯域ノイズに対するイミュニティ要件の明確化				
勧告番号	種別	勧告名		最終文書番号
K.h74_rev	改訂	Conducted and Radiated electromagnetic environment in home networking		—
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2012年				
対処及び今会合での課題: 積極的関与				

## ITU-T会合への課題別対処方針 (会合名:ITU-T SG5 第3回全体会合)

提出元: 日本代表团

課題番号	課題名	原題	Interference to telecommunications networks due to power systems and electrified railway systems
9		和訳	電気通信網に対する電力及び電鉄からの妨害
WP1	ラポータ名(所属)		Livio ZUCHELLI (SIRTI, Italy) / Associate:György VARJU (MT, Hungary)
課題の内容: 電力及び電鉄からの誘導による妨害, 安全に関する検討と既存勧告及び指示書のメンテナンス			
これまでの経緯: 電力設備・電気鉄道設備から受ける通信設備の誘導問題に関する検討を行っている。前会期は指示書第6巻や勧告K.68の改定が完了しており、今会期は指示書第5巻の改定、音声以外のサービスに対する誘導問題、地絡時の接地電位上昇等についての検討が行われる。前回の会合では、勧告草案K.hvpsに関連して、変電所内におけるアースインピーダンスおよび接地点電位上昇に対する議論が行われている。			
今会合での主な検討項目: 今会合では、CIGRE会合における検討結果が報告されるほか、音声以外のサービスに対する電磁誘導問題についての議論や、地絡時等の接地電位上昇についての議論が行われる予定である。			
他SG、他機関との関連: CIGRE, CIRED, UIC			
注意すべき諸外国の動向: 欧州, 米国, UIC, CIGRE等			
提出寄書: なし			
対処方針: <input type="checkbox"/> A:達成すべき事項あり <input checked="" type="checkbox"/> B:達成すべき事項なし <input type="checkbox"/> C:静観 勧告案K.hvpsにおける接地電位上昇に関する審議や、勧告案K.intにおける音声以外のサービスに対する誘導問題に関する審議においては、日本の通信設備および通信サービスの提供状況との乖離がないことを確認した上で、各国と協調して審議を進める。 また、CIGREの会合に対する参加報告やUICやCIGREに対するリエゾンの内容をを確認し、日本の状況と乖離がないように対処する。			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
Directive Vol. V	改訂	Inducing currents and voltages in power transmission and distribution systems	
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2011年			
対処及び今会合での課題: 日本の状況との乖離がないように対処			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.hvps	新規	Protection of telecommunications installations in High Voltage Power Stations	TD 632-GEN TD 708-GEN

勧告案の合意状況または合意予定時期： 2009-2010年			
対処及び今国会での課題： 日本の状況の反映			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.int	新規	Limits of interference on telecommunication transmissions on copper other than speech	TD 483-GEN TD 505-GEN TD 564-GEN TD 631-GEN
勧告案の合意状況または合意予定時期： 2010年			
対処及び今国会での課題： 日本の状況の反映			

## ITU-T会合への課題別対処方針

(会合名:ITU-T SG5 第3回全体会合)

提出元:日本代表团

課題番号	課題名	原題	Outside and indoor network elements for broadband applications
10		和訳	広帯域アプリケーションに対する屋内外のネットワーク構成
WP1	ラポータ名(所属)		Ho Seok OH (KT, Korea) / Associate : Zander ARAUJO (Brazil)
課題の内容: 広帯域ネットワークにおけるメタル網の設計・建設および試験・保守方法に関する検討			
これまでの経緯: 本課題では、旧SG6で検討されていた広帯域アクセス網に関する課題のうち、メタル網に対する課題をQ10/SG5で継続して検討されることが了承されている。課題10では、広帯域ネットワークの構成要素に対する試験方法等を規定する勧告案K.bb_testや、既存勧告L.19, L.75, およびL.76の改定について検討される。			
今会合での主な検討項目: 今会合では、前会合に引き続き、広帯域ネットワークの構成要素に対する試験方法等を規定する勧告案K.bb_testに関する審議が行われる。また、既存勧告L.19, L.75, およびL.76の改定についても検討される。			
他SG、他機関との関連: 特になし			
注意すべき諸外国の動向: 特になし			
提出寄書: なし			
対処方針: <input type="checkbox"/> A:達成すべき事項あり <input checked="" type="checkbox"/> B:達成すべき事項なし <input type="checkbox"/> C:静観 本課題については、動向把握とし、日本の状況と不合理な点がないか確認しながら対処する。			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.bb_test	新規	Test procedures and specifications for broadband network elements such as connection hardware, cables, wires and other elements	
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2011年			
対処及び今会合での課題: 動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L.19	改訂	Multi-pair copper network cable supporting shared multiple services such as POTS, ISDN and xDSL	TD 221-GEN/6
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2010年			
対処及び今会合での課題: 動向把握			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L.75	改訂	Test, acceptance and maintenance methods of copper subscriber pairs, indoor network and structured cabling	
勧告案の合意状況または合意予定時期： 2011年			
対処及び今会合での課題： 動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L.76	改訂	Developing the Copper loop requirements including indoor and structured cabling for various access technologies	
勧告案の合意状況または合意予定時期： 2012年			
対処及び今会合での課題： 動向把握			

## ITU-T会合への課題別対処方針

(会合名:ITU-T SG5 第3回全体会合)

提出元: 日本代表团

課題番号	課題名	原題	Safety in the telecommunications networks
11		和訳	電気通信網における安全
WP1	ラポータ名(所属)		Philip DAY (Telstra, Australia) / Associate:Zhihui WANG (ZTE, China)
課題の内容: 電気通信設備に対する安全規定と安全作業手順に関する検討、及び既存勧告のメンテナンス			
これまでの経緯: K.50の改訂に伴い、RFT-C回路のcapacitance limitの線を削除する提案に関しては、削除しないことで合意された。IEC60950-1に基づきK.51に害虫被害に関する規定を盛り込むこととなり、AAP手続きを開始することとなった。K.juryの草案に関して、次会合までにコメントをe-mailでラポータに送付するよう要請された。RFT-C回路のcapacitance levelに関して、IEC/TC108とTC64にリエゾン文書を発出することとなった。			
今会合での主な検討項目: K.injryの草案に対するコメントに関して審議が行われる予定である。また、システムの実効キャパシタンスレベルに関して、IEC/TC108及びTC64とのリエゾンについて報告される見込である。			
他SG、他機関との関連: IEC TC108, TC64			
注意すべき諸外国の動向: なし			
提出寄書: なし			
対処方針: <input type="checkbox"/> A:達成すべき事項あり <input checked="" type="checkbox"/> B:達成すべき事項なし <input type="checkbox"/> C:静観 IEC規格の妥当性および整合性について確認し、不合理な点のないように対処する。			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.inj	新規	Reduction of risk of injury to people due to overvoltages and overcurrents on telecommunication lines due to lightning	
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2010年			
審議結果及び今後の課題: 安全規定との整合性についてさらに精査する			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.mag	新規	Evaluation techniques and working procedures for compliance with limits to power-frequency magnetic field exposure of network operator personnel.	(05-08 period, TD.680)
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2009-2010年			
審議結果及び今後の課題: 日本の状況の把握			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.51	新規	Safety criteria for telecommunication equipment	
勧告案の合意状況または合意予定時期:2010			
審議結果及び今後の課題:動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.50	新規	Safe limits of operating voltages and currents for telecommunication system powered over the network	
勧告案の合意状況または合意予定時期:2010年			
審議結果及び今後の課題:動向把握			

## ITU-T会合への課題別対処方針

(会合名:ITU-T SG5 第3回全体会合)

提出元: 日本代表团

課題番号	課題名	原題	EMC telecommunications Recommendations
12		和訳	電気通信のEMC勧告
WP2	ラポータ名(所属)		Paolo GEMMA (Huawei, China) / Associate:Boban PANAJOTOVIC (Serbia)
課題の内容:			
新たな通信装置、通信サービスに対応したEMC規格の検討と既存EMC勧告のメンテナンス			
これまでの経緯:			
<p>前回会合では、1GHz から 6GHz における EMC 規格を定めた K.high の勧告案が審議の上で Consent され、AAP 手続きを開始することとなった</p> <p>勧告 K.43 の改訂に関しても、昨今の無線サービスの高速化を考慮しイミュニティ試験の上限周波数を引き上げるべきとの中国からの提案を審議した結果、1GHz から 2.7GHz までを追加することなどの修正を加えた上で本勧告案を Consent することが合意され、AAP 手続きを開始することとなった。</p> <p>また、K.NGN については、パケット伝送ネットワーク(PTN)装置の試験方法および性能規定に関する中国からの提案を新勧告に盛り込むことが了承された。</p>			
今会合での主な検討項目:			
今回の会合では、前会期からの継続課題である無線機器のからのRF信号によるイミュニティを考慮したK.48の改訂や、次世代NWに関わるK.NGNに関する検討を中心に審議が行われると思われる。			
他SG、他機関との関連:			
IEC TC77, CISPR			
注意すべき諸外国の動向:			
特になし			
提出寄書:			
なし			
対処方針: <input checked="" type="checkbox"/> A:達成すべき事項あり <input type="checkbox"/> B:達成すべき事項なし <input type="checkbox"/> C:静観			
K.NGNやK.48の改訂に関しては、現状の通信機器のEMC問題と深く関わる問題であることから、今回の会合での検討内容の妥当性や現状装置との整合性を確認する。また、他の国際機関(IEC, CISPR)等との関係についても注視し、国際規格間で齟齬のないように対処する。			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.high	新規	EMC requirement for telecommunication quipment above 1GHz	



勧告案の合意状況または合意予定時期:2008年			
対処及び今国会での課題:日本における実例の収集、規定値の提案に向けた事例の分析			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.48 Appendix	追加	Elevated Radio Frequency Radiated Immunity Level for Telecommunication Network Equipment to Protect against Interference due to nearby use of Mobile telecommunication terminals	
勧告案の合意状況または合意予定時期:2009-2010年			
対処及び今国会での課題:日本における無線通信端末の調査、分析			

## ITU-T会合への課題別対処方針 (会合名:ITU-T SG5 第3回全体会合)

提出元: 日本代表团

課題番号	課題名	原題	Protective components and assemblies
13		和訳	防護素子とアセンブリ
WP1	ラポータ名(所属)		Gerhard ACKERMANN (DT, Germany) / Associate:Michael MAYTUM (UK)
課題の内容: 過電圧防護素子とそのアセンブリに対する要求条件、試験方法の検討			
<p>これまでの経緯:</p> <p>K.28(半導体アレスタの特性)及び K.ocp(自己復旧形過電流防護素子)については、今会合でのコンセントにむけ、内容の完成度を高めていくことが了承された。K.ocp のタイトルが”Solid-state, self-restoring overcurrent protector requirements for the protection of telecommunications installations”(電気通信設備を保護するための半導体素子を使用した自己復旧形過電流防護素子の要求事項)に変更された。K.ocp の最終草案が 8 月 28 日までに SG5 に送付されることとなった。K.30 は K.ocp が承認された後に削除予定。K.65 (SPD 又は試験ポートに接続するターミネーションモジュールの過電圧、過電流規定)の草案が次会合までに準備されることとなった。</p>			
<p>今会合での主な検討項目:</p> <p>K.28(半導体アレスタの特性)及びK.ocp(自己復旧形過電流防護素子)がコンセントされる予定である。また、K.65 (SPD又は試験ポートに接続するターミネーションモジュールの過電圧、過電流規定)の草案が審議される予定である。</p>			
<p>他SG、他機関との関連:</p> <p>IEC SC37等</p>			
<p>注意すべき諸外国の動向:</p> <p>なし</p>			
<p>提出寄書:</p> <p>なし</p>			
<p>対処方針: <input type="checkbox"/>A:達成すべき事項あり <input type="checkbox"/>B:達成すべき事項なし <input checked="" type="checkbox"/>:静観</p> <p>K.ocpドラフトに技術的な問題がないか確認する。K.65についてもドラフト案提出後に、記載項目の妥当性を確認する方針。</p>			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.12	改訂	Characteristics of gas discharge tubes (GDT) for the protection of telecommunication installations	C43 (05-08)
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2008年			
対処及び今会合での課題: 動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号

K.var	新規	Characteristics of metal dioxide varistors for the protection of telecommunications installations	C38, C41,C61
勧告案の合意状況または合意予定時期:2009-2010年			
審議結果及び今後の課題:動向把握			

## ITU-T会合への課題別対処方針 (会合名:ITU-T SG5 第3回全体会合)

提出元: 日本代表団

課題番号	課題名	原題	Guides and terminology
14		和訳	ガイドと用語の定義
SG5	ラポータ名(所属)		Mr. Michael MAYTUM (Bourns Ltd., UK) / Associate:György VARJU (Hungary)
課題の内容: 勧告や指示書、ハンドブックで使用する用語の定義の作成とKシリーズ勧告のガイダンスの作成			
これまでの経緯: 勧告Kシリーズの中で使用されている用語の定義について検討を行っている。制改訂された勧告の活用方法や用語の定義についてまとめて、Kシリーズ勧告のガイドと用語の定義集を作成している。			
今会合での主な検討項目: ・前会期に成立したKシリーズ勧告のガイダンス更新 ・前会期に成立したKシリーズ勧告で使用されている用語の用語集への追加 SG5、他SG、IEC			
他SG、他機関との関連: IECボキャブラリー			
注意すべき諸外国の動向: なし			
提出寄書:			
対処方針: <input type="checkbox"/> A:達成すべき事項あり <input type="checkbox"/> B:達成すべき事項なし <input checked="" type="checkbox"/> C:静観 本課題は、今会期中に勧告化された勧告、ハンドブック等を活用し、用語の定義やガイダンスを更新していくことが目的である。基本的には静観するが、用語の定義やガイダンスに不整合や不合理な点が生じないよう対処する。			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K-series vocabraly	改訂	K-series vocablary	
勧告案の合意状況または合意予定時期:09-12会期内適宜			
対処及び今会合の課題: 動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
Guide to K- series Rec.	改訂	Guiode to K-series Recommendations	
勧告案の合意状況または合意予定時期:09-12会期内適宜			
対処及び今会合の課題: 動向把握			

## ITU-T会合への課題別対処方針

(会合名:ITU-T SG5 第3回全体会合)

提出元:日本代表团

課題番号	課題名	原題	Security of telecommunication and information systems regarding electromagnetic environment.
15		和訳	電磁環境に関する情報通信装置のセキュリティ
WP1&WP2	ラポータ名(所属)		Tetsuya Tominaga(NTT)/Associate: H.Sekiguchi(NICT)

## 課題の内容:

- ①高々度電磁パルスや高出力電磁パルスに対する防護方法、情報漏洩の検討と勧告化
- ②セキュリティ評価方法(シールド等)や対策方法の検討と勧告化

## これまでの経緯:

電磁環境に関連した情報通信装置のセキュリティについて検討を行っている。前会期において、K.hemp (HEMPの通信システムへの要求条件)、K.hpem (HPEMの通信システムに対する脅威)、K.sec (電磁波セキュリティに関する適用ガイド)、K.leakage (電磁波漏洩問題の試験法)、K.secmiti (電磁環境に起因するセキュリティ問題の緩和法)の勧告案の策定を行ってきた。K.hemp (K.78)については2008年11月会合において、K.hpem (K.81:AAP)については前会合において勧告化が承認された。

## 今会合での主な検討項目:

- ・継続案件であるK.hpemの内容についての審議が中心になると考えられる。

## 他SG、他機関との関連:

IEC SC77C, SG17, ITU-R等

## 注意すべき諸外国の動向:

特になし

## 提出寄書:

2件

対処方針: A:達成すべき事項あり B:達成すべき事項なし C:静観

今回の会合では、K.hemp (HEMPの通信システムへの要求条件)およびK.hpem (HPEMの通信システムに対する脅威)の勧告化を受けて、その内容をK.secに反映する部分についての寄書を提出し審議を行いたい。

なお、本寄書の内容には、平成19年度総務省戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)073103006「情報通信ネットワークインフラにおける悪意ある電磁波攻撃に対する評価および防護技術に関する研究」のもとに行なわれた研究成果を反映させた。

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.sec	新規	Guide for risk assessment and applicatin of security requirements concering electromagnetic phenomena. - Basic Recomendatin	TD.693

勧告案の合意状況または合意予定時期:2010年

対処及び今会合での課題:IECでの検討との整合性、脅威の調査・分析

## ITU-T会合への課題別対処方針

(会合名:ITU-T SG5 第3回全体会合)

提出元: 日本代表团

課題番号	課題名	原題	EMC requirements for the Information Society
16		和訳	情報社会のEMC
WP2	ラポータ名(所属)		Li XIAO (China) / Associate : Lin GUO (China)
課題の内容: 無線通信システム等による情報化社会におけるEMC問題の検討。			
<p>これまでの経緯:</p> <p>課題 16 では、各種無線システムにおける EMC 問題を検討している。前会合では、勧告 K..emc(デジタル無線の動作による 2.4/5GHz 帯域の電磁環境特性)がコンセントされている。また、本会期は、融合端末装置の相互干渉による性能劣化を評価するための試験方法を規定する勧告草案 K..deg や、コロケーション環境における無線基地局アンテナ間のアイソレーションに関する要求条件を規定する勧告草案 K.ant についての審議が行われる。</p>			
<p>今会合での主な検討項目:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前会合において、無線基地局アンテナ間のアイソレーションに関して、ITU-Rにリエゾン文書を送付し、回答がきているが(TD230)、今会合では、相互の重複を避けるように議論が行われる。</li> <li>・勧告草案K.degに関して、eメールを活用した議論が前会合より継続して行われており、その内容を考慮した修正案がラポータより提出されることとなっている。今会合では、提出された修正案に関して審議が行われる。</li> </ul>			
<p>他SG、他機関との関連:</p> <p>SG5、他SG、ITU-R</p>			
<p>注意すべき諸外国の動向:</p> <p>なし</p>			
<p>提出寄書:</p> <p>なし</p>			
<p>対処方針: <input type="checkbox"/>A:達成すべき事項あり <input checked="" type="checkbox"/>B:達成すべき事項なし <input type="checkbox"/>C:静観</p> <p>提出される勧告草案K.degやK.antについて、技術的内容や章構成を確認するとともに、日本における運用状況との齟齬がないか確認し、適切な勧告となるように対処する。</p>			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.emc (K.79)	新規	The electromagnetic characterization in the 2.4/5GHz band created by radio services	TD 43rev3
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2010-2011年			
対処及び今会合の課題: エディターからAAPへの最終版が未提出			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.deg	新規	Mutual-interference Test Requirements for Performance Degradation Evaluation of Converged Terminal Device	

勧告案の合意状況または合意予定時期:2010年
-------------------------

対処及び今会合の課題:動向把握
-----------------